

まちづくり活性部新名神推進課

「東部丘陵線の事業費について」の追加資料の提出について

令和4年第2回定例会建設常任委員会において、委員から依頼があった下記のことについて、資料を提出します。

記

東部丘陵線の算出経過に係る費目別増加要因の内訳について
(別紙のとおり)

東部丘陵線の算出経過に係る費目別増加要因の内訳について

<当初> 概算による算出 平成28年度（事業着手時点）

費目	金額	備考	前回との差
測量試験費	2.0億円		
用地費	5.3億円		
補償費	0円		
工事費	32.7億円		
合計	40.0億円		

<第1回変更> 概算による算出+追加分 平成29年度（事業再評価時点）

費目	金額	備考（増加要因）	前回との差
測量試験費	2.2億円	インターアクセス追加（0.2）	+0.2億円
用地費	18.0億円	インターアクセス追加（2.2）、調整池（2.0）、自衛隊用地（5.5）、買収単価上昇（2.7）、その他面積増分（0.3）	+12.7億円
補償費	1.0億円	プラント他（1.0）	+1.0億円
工事費	43.8億円	インターアクセス追加（2.2）、旧自衛隊区域土工（6.9）、調整池（1.4）、木津川運動公園前先行工事変更増分（0.6）	+11.1億円
合計	65.0億円		+25.0億円

<第2回変更> 詳細設計による算出 令和3年度末時点

費目	金額	備考（増加要因）	前回との差
測量試験費	5.9億円	修正設計（2.4）、軟弱地盤調査設計（0.3）、物件調査（0.8）、用地測量等（0.2）	+3.7億円
用地費	19.3億円	城陽井手木津川バイパス交差部の三角地（1.3）	+1.3億円
補償費	2.4億円	移転費用（1.2）、特殊物件（関電等）（0.2）	+1.4億円
工事費	69.4億円	次のとおり①～④	+25.6億円
合計	97.0億円		+32.0億円

●工事費25.6億円の増額内訳

工種	金額	増加要因
①土工	9.3億円	・現況測量に基づく施工土量の増加（5.2）、残土処分（約16万m ³ ）（3.3） ・場内道路の機能復旧に伴う土量の追加（0.8）
②構造物工	5.9億円	・ボックスカルバート工（市道）（2.6）、排水施設等の構造変更（3.3）
③地盤改良工	2.6億円	・軟弱地盤の対策費の追加（2.6）
④その他	7.8億円	・安全対策の追加（1.0）、NEXCO委託経費（2.0）、消費税増税（0.9）、物価上昇（3.9）
合計	25.6億円	